

# 夏休みは家庭教育の

## 絶好の機会

# 親子の対話で 非行防止を!



楽しい夏休みも始まり、子供たちはキャンプやスポーツにと、元気に過ごしていることと思います。しかし一方、非行に走りやすいのもこの季節。市少年補導センターの五十九年度の補導件数は減少しているものの、決して問題行動が減ったわけではなく、むしろ増加しています。つまり、非行が潜在化、密室化してきたのが特徴です。

所であればならないはずなのに、親が反対の状況を作り出していることも少なくありません。子供が、家族が心身ともにくつろげる家庭をつくる最大のかきは、やはり母親が握っているようです。

### 家出、無断外泊

この行為の最大の原因は、家庭の不和にあることが多く、特に母とのかわりに問題のあるケースが増加しています。こういう行動をする子供たちは、「いざこざの絶えない家庭」「お

もしろくない学校」に、自分のいる場がないと感じ、そこから逃避したいと思っているのです。昭和五十七年に市少年補導センターが行った「中学生の意識と実態調査」からも、家出をしたと思ったことがある生徒が過半数を超え、上級生になるほど高く、女子が男子を上回る結果が出ており、この時期の子供たちの心の不安定さがうかがえます。本来、家庭は最も落ち着ける場

も、この行動をとってしまったら親は、温かく迎えるとともに、親にとってかけがえのない子供なんだということを話してあげてください。大切なことは、子供が親に求めていることをきちんとくみ取り、それに答えていく。つまり、愛情を言葉に出し、行動によって伝えていくことです。言葉や態度で示さなければ、子供には何も伝わりません。

### 異性と 交際

昨年六月、市少年補導センターが市内四中学校の一、二年生を対象に実施した「性の意識調査」では、性意識がかなり進んでいることが指摘されています。それによると、異性と交際している生徒は一七%で、「楽しくて幸福感いっぱい」が四〇%、「悩んだり後悔している」が八%となっています。そして、C（セックス）までの付き合いをしている生徒は、一七%のうち一六%で、まさに早熟化を裏付けています。交際についての相談相手としては六三%が友人で、親に相談するのはわずか一三%。

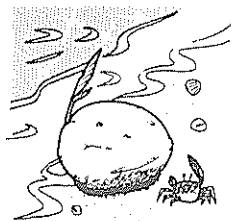
また、男性より女性の方が大胆で積極的という結果も出ており、社会環境の変化が、子供たちの性意識をずいぶん変えてしまっているようです。性非行は他の非行と異なり、後々までも心身に影響を及ぼし、特に女子の場合、母性本能の喪失にもつながりかねません。

ほしいものです。それによって子供は、交際について責任と自覚を持つものです。厳しく問いただしたりすることは、問題をこじらせるばかりです。子供たちにとって必要なのは、説教ではなく、信頼関係に基づく助言であることを忘れてはいけません。

### 万引き

乗物盗とともに万引き行為は、依然として増加傾向を示しています。この原因は、遊びや好奇心、仲間がやるから、スリルを求めて、

むしゃくしゃするからという欲求不満解消型など、その心理はいろいろです。万引きで補導される子供たちに共通しているのは、その多くが罪の意識がほとんどないということです。どうして罪の意識がないのでしょうか。これは、幼児期や児童期にいろいろ遊びを通じて、してよいことと悪いことの区別を知り、してはいけないことをするのは許さないというしつけを、十分受けたかどうかの問題です。もし、万引きをしたことに気がいたときは、ウヤムヤにせず、それがいかに悪いことであるかを分からせ、二度と同じ過ちを起させないようにすることです。例えば、盗んだ品物を持ち子供といっしょに謝りに行く。親も子供といっしょに恥をかくことです。軽い気



持ちでした子供に、事の重大さを気づかせ、「悪いことをした」という思いを深く胸に刻み、もう二度とすまいという決意を子供にさせるものです。家庭では、親子の対話を持つことも大切です。そして何でも話せる雰囲気をつくり、愛情を持って子供たちに接すると同時に、善悪の判断と自己抑制がきちんとできる、強い子供に育てることが必要です。

### 補導現場

から



隅田道代さん  
(婦人補導員)

#### —家庭って何—

家出で補導されたK市の小学6年生の話。「お父さん?仕事かなにか知らんが夜遅くに帰る。お母さん?ようわからんけど、しょっちゅうおらん。僕と妹?夕食はインスタントラーメン食べたり、お弁当を買ってきてたり。うん、お金はくれるよ」バラバラの家族。寂しげな子供たちの姿が目に見えます。あなたのご家庭は?

#### —お説教よりも聴くこと—

B子(16歳)は、幼児のとき、両親が離婚。小学生のとき、父親が県外で就職して現在は祖父と3人暮らし。家族への不信感からボーイフレンドを求め、夜遊びで補導され、高校も中退。祖父がお説教をすればするほど孫との溝は深まり、祖父の嫌う行動をとる。一念発起した祖父はお説教をやめ、まず、孫の言い分をよく聴き、一緒に考え、そして、自分の信じたところを語っても決して孫に強要しなかつたところ、最近では夜遊びもせず、やさしくなったということです。とかく、説教や脅し、批判、非難などではやる気はわかないものです。

#### —信じて確認を—

万引きで補導されたT町の女子中学生3名。「何回も万引きしたのに初めて捕まった。見つかったらどうしよう……とドキドキしたけど、うまく万引きできたらおもしろいし、うれしかった」と言う。友達から借りたと偽って、着ていたスカートやブラウス。親がしっかり確認するなど、き然としていたら防止できたのではないだろうか。